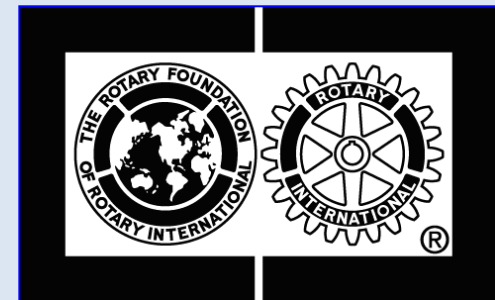




2013-14





ロータリー財団の歩み

2015-16年度のための地区研修協議会

15-16 財団部門顧問 RID2660 PDG

福家 宏



“世界でよいことをしよう”

「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、
教育への支援を高め、
貧困を救済することを通じて、
世界理解、親善、平和を
達成できるようにすること」

(1917年:アーチャー・クランフRI会長)



1917年

RI会長**アーチ・クランフ**が提案

「世界のためによいことをしよう」

⇒呼びかけに応じて「**基金**」が設立される

1928年

「**基金**」は5000ドルに成長し、国際大会において

『**ロータリー財団**』となる

⇒国際ロータリーから独立した、別の機関



ロータリー財団の成長 ①

1929年

財団は初の補助金500ドルを国際障害児協会へ寄贈

1947年

- ・ロータリー創設者のポール・ハリス死去。多額の寄付が寄せられ、「ポール・ハリス記念基金」となって、その後のロータリー財団の発展に寄与
- ・財団初のプログラム「国際親善奨学金」を開始（これまでに4万人近い留学生に恩恵）

1965年

- ①「研究グループ交換(GSE)」
- ②「技術研修のための補助金」
- ③「ロータリー財団の目的を果たす活動の為の補助金」
⇒ 後の「マッチング・グラント」と3つのプログラムを開始



1978年

「保健、飢餓追放、人間性尊重(3-H)補助金プログラム」開始。3-H補助金のプロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施

1985年

全世界でポリオの撲滅をめざす「ポリオプラス・プログラム」を設置。この時ポリオ蔓延国は125カ国。
⇒今は3カ国

1987年

初めての平和フォーラムが開催された
⇒「ロータリー平和フローシップ」創設のきっかけとなる。

2000年

マッチング・グラント承認件数が1965年～35年間で1万件に達する



2003年

国内外の地域での社会奉仕活動への補助金として
地区補助金がスタート

2004年

マッチング・グラント承認件数が4年間で1万件に達する

2005年

未来の夢計画委員会が発足

2007年

ゲイツ財団、ポリオ撲滅のため1億ドルをロータリーに
託す。ロータリーの1億ドルのチャレンジ開始

2008年

再びマッチング・グラント承認件数が4年間で1万件

2009年

ゲイツ財団、ポリオ撲滅のため2億5500万ドルをロー
タリーに託す。ロータリーの2億ドルのチャレンジ開始



ロータリー財団の成長 ④

2013年

世界中のロータリアンがグローバルなニーズに応えられるよう、FVP(新しい補助金モデル⇒地区補助金、グローバル補助金)がスタート

1917年に26ドル50セントの寄付から始まったロータリー財団は、10億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団に成長しました。財団はこうして多くの方々に支えられ、人道的分野や教育面での支援活動を続けています。

2017年

ロータリー財団創設100周年

FVPの目的

- クラブ・プロジェクトの成果を高める
- 補助金活動全般の焦点を絞る
- これまで以上に決定権を地元レベルに委ねる
- 他団体と協力する
- 財団の補助金手続きを簡素化する
- 存在感とイメージを高める



焦点を絞る

財団は、その使命声明に基づき、6つの重点分野への支援に焦点を当てました

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 母子の保健
- 基礎的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展



地区の実績

地区補助金プロジェクト
⇒昨年度 45件

グローバル補助金プロジェクト
⇒昨年度以降 16件

2013-14年度寄付実績：\$578,022.62

一人当たり地区平均：\$162.23



ポリオ撲滅





ポリオの根絶

それは 世界中の子ども達への
ロータリーの**約束**

ポリオとは ①

- ポリオ・ウィルスによって発症
- 伝染性の疾患
- ヒトだけの疾患（媒介生物なし）人⇒人へ
- 感染すると終生免疫
- 殆どが不顕性感染（無症状）
- 10%未満が夏カゼ程度の症状
- 1000人～2000人に1人 生涯の麻痺を残す



ポリオとは ②

- Poliomyelitis ポリオ・マイエライティス
- 急性灰白髄炎 脊髄神経の灰白髄を侵す
- かつて日本では「小児麻痺」と呼ばれた
- 成人も罹患
(米国32代 F.ルーズベルト大統領は39才で罹患)
- 日本での予防接種開始:1961年
- 日本でのポリオ撲滅:1980年



ポリオとは ③

不顕性でも軽症でも他人には感染!!

一見健康でもウィルス保持者!!



一見健康だから移動は自由



ウィルスは拡散!!

麻痺は一生涯!!

ポリオは人の一生を台無しにし、人生を悲惨なものに変え、
時には死にいたる

非常に恐ろしい病気です

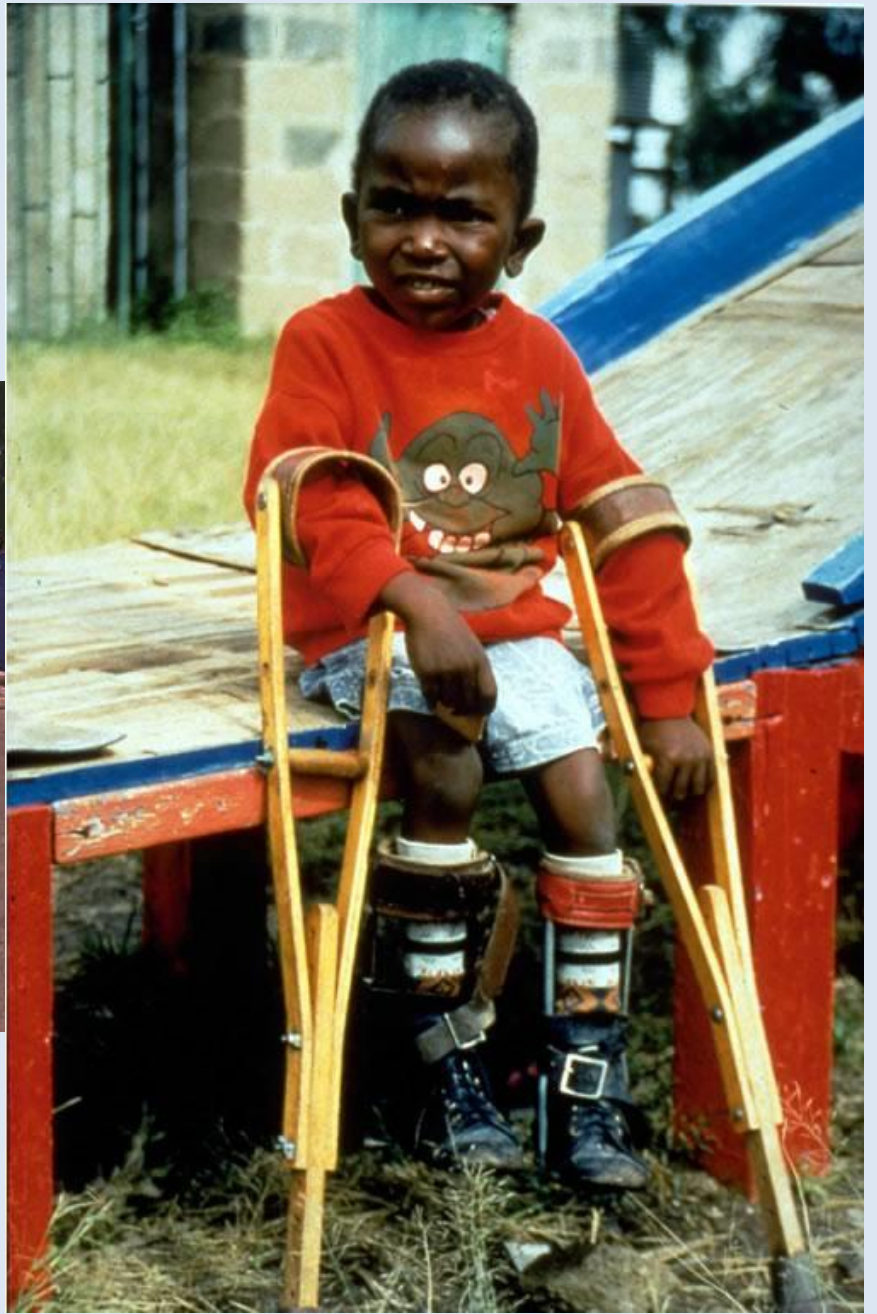
麻痺を来した子供たち



悲惨な移動

装具つけた子供







IRON LUNG !! 鉄の肺





1988～GPEI

POLIO | **GLOBAL
ERADICATION
INITIATIVE**



世界ポリオ撲滅推進計画

Rotary



1985年

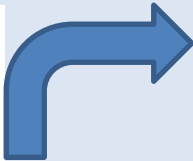


**World Health
Organization**



POLIO GLOBAL
ERADICATION
INITIATIVE

1988年



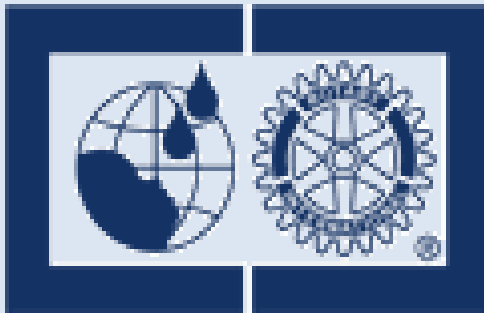


Governments
of the World

BILL & MELINDA
GATES *foundation*

ポリオ生ワクチンの投与

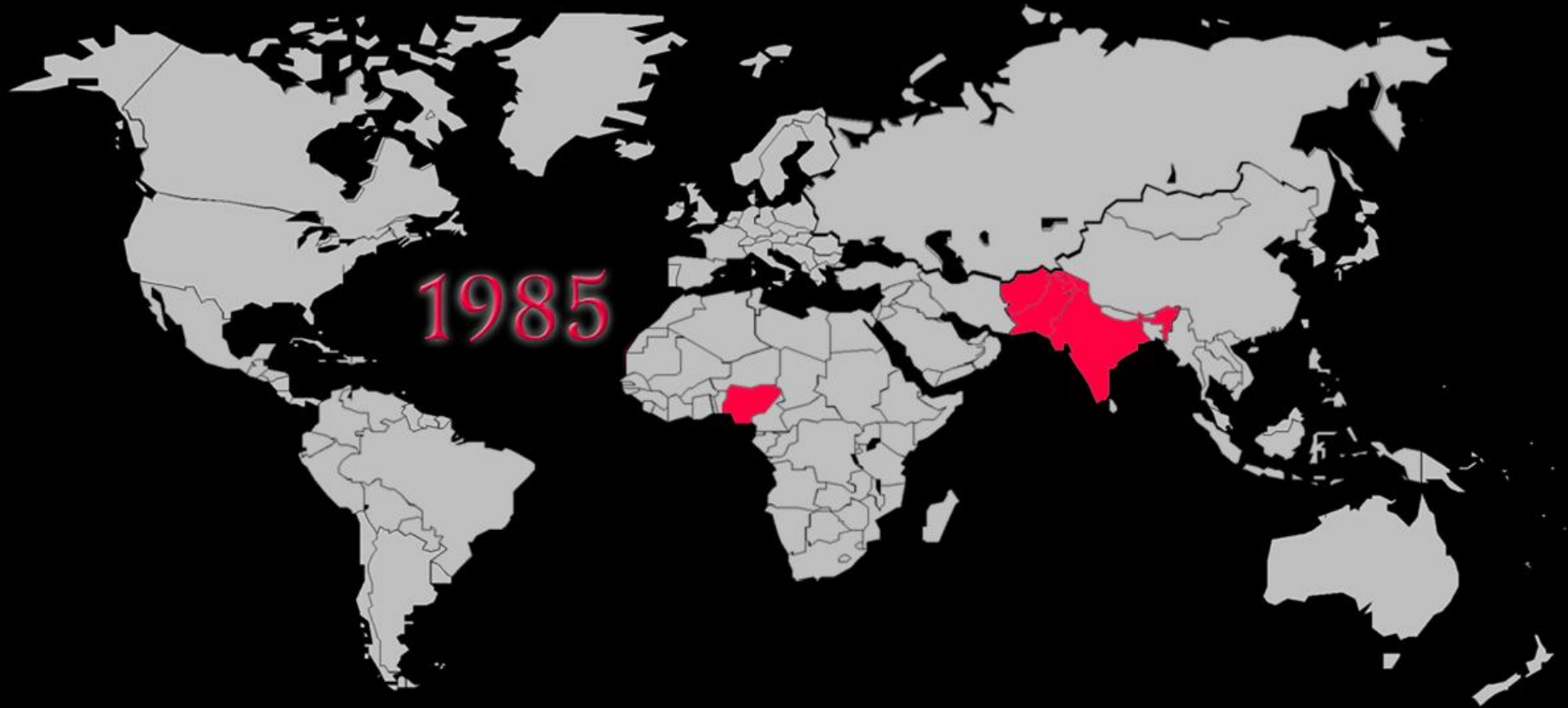
PolioPlus



Rotary International



ポリオ撲滅の進展



ポリオ撲滅の進展



A world map with a black background and white outlines of continents and countries. Three countries are highlighted in red: Nigeria in West Africa, Afghanistan in South-Central Asia, and Pakistan in South Asia. The year '2012' is written in large red text with a white outline over the Atlantic Ocean.

2012

1985:

- 350,000 cases
- 125 countries

2011:

- 650 cases
- 3 endemic countries:
Pakistan, Afghanistan, Nigeria



驚くべき成果!!

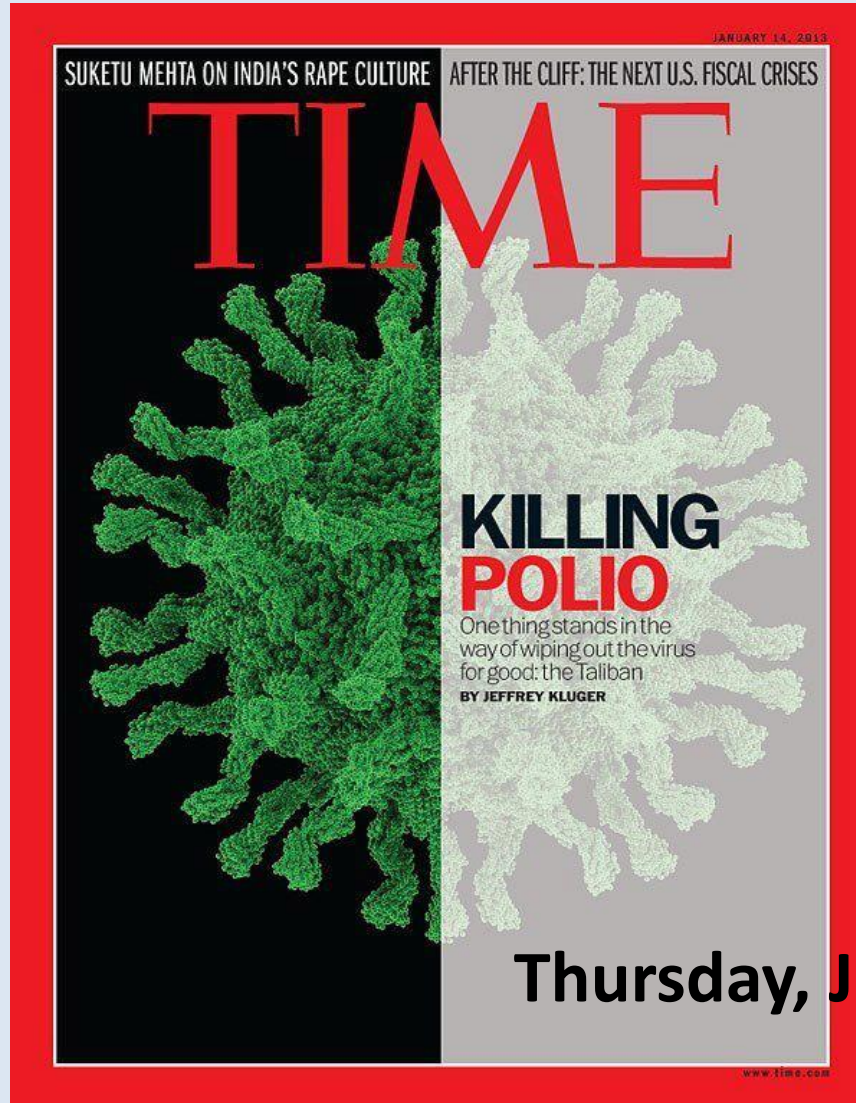
しかし ポリオ撲滅の闘いは
まだ終わっていない



根絶しないと後戻り
相手はウィルス



世界ポリオ撲滅推進計画



Thursday, January 31, 2013

ロータリー平和フェロー①

- ロータリー平和フェロー:生涯、仕事や奉仕活動を通じて国内外での平和、紛争解決を推進するリーダー
- フェローは国際関係、行政学、持続可能な開発、平和研究、紛争解決はじめ、これらに関連する分野の修士号を取得出来る
- 6名門大学に置かれた、ロータリー平和センターで資格を取得

ロータリー平和フェロー②

- 「ロータリー平和フェローシップ」=奨学金の名称
- このプログラムの奨学生=平和フェロー
- 2002年：第一期生留学
- 卒業した学友：700名以上
- その多くがNGOや政府組織の平和・紛争関連の分野で活躍
- 昨今は減少傾向

ロータリー平和センター：6大学

①ウプサラ大学(スウェーデン)

②ブラッドフォード大学(イギリス)

③クイーンズランド大学(オーストラリア)

④国際基督教大学(日本)

⑤デューク大学およびノースカロライナ大学(米)

専門能力開発終了証プログラム(3ヶ月)

⑥チュロンコーン大学(タイ)



ロータリー財団の寄付

- 国際ロータリーもロータリー財団も私たちの寄付で成り立っています
- 一方私たちは国際ロータリーやロータリー財団から奉仕の機会を与えられています
- だからこそ奉仕の機会を与えられているロータリアンは寄付をするのです
- ロータリー財団の歩みが示すように、私たちの寄付に支えられた奉仕活動は国内外で大きな成果を上げています
- 私たちはロータリアンとして寄付をすることに対して、誇りを持ちましょう

3年前の年次基金

50%

50%

恒久基金の利息

50%

50%

DDF

WF



変化のサイクル



2010年12月24日

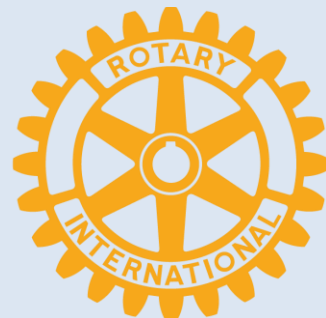
公益財団法人ロータリー日本財団 発足

2011年4月1日～

寄付金が税制上の優遇措置が受けられる

- ①年次基金寄付
- ②ポリオプラス寄付
- ③恒久基金寄付
- ④グローバル補助金提唱者負担分の個人寄付

Rotary



ご清聴、有難うございました

The
Rotary
Foundation

